

市議会 だより

令和5年12月定例会報告

鶴ヶ島市議会

市民が誇れるまちづくり を期待しています



消防団による一斉放水



鶴ヶ島市消防団にインタビュー

目次

特集 市長×議長対談	2
市民と議員の懇談会2023	4
市の考えを問う 一般質問	5
12月定例会報告	14
委員会審査(条例等)	15
委員会審査(補正予算)	15
◆一般会計・特別会計	
市民・団体インタビュー	18

安心・安全な鶴ヶ島

昨年は、1923年（大正12年）に発生した関東大震災から、100年目の節目の年でした。

11月、市では「第37回鶴ヶ島市防災訓練」、そして、議会では「防災・減災で、より安心・安全のまちづくり」をテーマに「市民と議員の懇談会2023」を開催しました。

そして、令和5年12月7日に、住民福祉の向上という市政の大きな目的がある中、「安心・安全な鶴ヶ島」について、市長と議長が意見交換しました。その一部を紹介します。

災害対策

●防災と減災

―はじめに、11月の防災訓練の様子から―

市長 寒かったです。（笑）しかし、寒さを体感することも大きな成果でした。今後も、気候に対応した災害

対策が必要になると考えています。

議長 市議会でも議会業務継続計画（BCP）に基づき、参加させていただきました。今回得たことを、今後の災害時における行動の指針として活かしていきたいと思っています。

―防災訓練は800人の参加。市民と議員の懇談会も50人を超える参加があった―

議長 市民の皆さんから災害への関心の高さを感じました。もっと公助をと要望していた方も複数いました。

市長 自主防災組織について言えば、自治会活動でも、役員が変わると途切れてし

まうこともありませんが、自主防災組織はメンバーの交代が比較的緩やかなため、より有効です。いざという

とき、地域での活動は、市から依頼をしてもできないことがあります。地域の方々が自主的に行うことが欠かせません。

議長 地域活動の担い手が要になるということでしょうか。

市長 災害発生時は、まず助け合わなければなりません。そのためには、隣近所の普段の付き合いが大切であると感じます。市民の皆さんには、まずはぜひ自治会に入って、地域で自助・共助の形を作って欲しいと思います。

●気候危機と

ゼロカーボン

―市民の視点は、防災組織と、気候変動対応からの減災でした―

議長 ゲリラ豪雨や気候危機、ゼロカーボンシティといった環境から災害を考察して減災をというご意見がありました。

市長 2050年にゼロカーボンを達成するためには、今現在の状況では、計画の半分しか達成できないと思います。

議長 「第3期鶴ヶ島市環境基本計画」も話題になりました。計画には、温暖化や気候危機対策も盛り込ま

れています。

市長 今後、公園を作って木を増やしたいと思います。12月には、若葉駅西口に「わかばハンカチノキ公園」が完成しました。

議長 樹木は11年から40年までの若い木が二酸化炭素をよく吸収するそうです。植樹はゼロカーボンの考え方ですね。

市長 今後の科学の進歩と市と市民の皆さんの少しずつの努力を合わせれば、達成できるかもしれないという期待はあります。

議長 「グリーン購入[※]」についても、市でリーダーシップをとって進めていた



齊藤市長



※進行役は広報広聴委員会の小林委員長と今野副委員長が務めました。

だきたいです。

市長 「グリーン購入」については、やっていきたいと思っています。今年度から市で購入するものは一覧を作成して取り組んでいます。

議長 ぜひ購入比率を公表して、市の意欲的な取組を示していただきたいと思います。

※グリーン購入とは環境への負荷ができるだけ少ない製品等を選んで購入することです。

交通安全対策

●交通事故を減らすために

―市長マニフェストでは交通安全対策を安心のまちの柱としている―

市長 市長に就任してから続けて予算化しています。昨年度は約2300万円を執行し、カーブミラーの設置や修理、路面標示の塗り直しや新規設置、通学路のグリーンベルト設置など各

種安全対策工事を行いました。信号機・横断歩道は市では勝手に※設置できないんです。

何より、一人ひとりが交通安全の意識を持つことが重要になります。

※信号機・横断歩道は、その都道府県の公安委員会が設置し管理することになっています。実際には、公安委員会から委任された県警察がその事務を行います。

●自転車ヘルメットの普及に向けて

―今年度、議会でも交通安全について意見を出し合った―

議長 6月議会で、自転車のヘルメット補助が予算化されたことから、交通事故を減らすためにできることについて議論しました。

市長 小学校卒業時の記念品をヘルメットにしてから数年経過しました。補助金については、今年度は65歳以上と小学生以下の方を対象にしました。まだ、予定した応募数に至っていません。

議長 議会改革推進会議内の交通安全対策プロジェクトチームでは、自転車乗車時のヘルメットの着用及び自転車講習会等の学ぶ機会、SNS等を活用した周知の3件が有効ではないかと意見をまとめました。

市長 自転車乗車時のヘルメット着用は、今年から努力義務になったばかりです。シートベルトのような罰則もないので定着するにはまだ年数がかかると思いますが、普及へ努力を重ねます。

議長 ヘルメットの定着のために、補助対象の年齢拡大を、ご検討いただければと思います。

安心・安全なまちとは

市長 普通の生活が普通にできることが、安心で安全なまちであると考えています。いざ災害にあったときには、安心できることが一番です。地の利と人の利が重なることが大事です。

議長 車も人も、いつも「かもしれない」と考えていることが相手を思いやることにつながると思います。災害時も、共助があたりまえのまちなら、広報11月号のキャッチにあった「こちよいつるがしま」になるのではないのでしょうか。

大野議長



市民と議員の懇談会2023

「防災・減災で、より安心・安全のまちづくり」

議会報告会2023テーマ
「防災・減災で、より安心・安全のまちづくり」

市民と議員の懇談会

鶴ヶ島市は、災害が少ないまちと謳われています。より防災の少ないまち、さらに災害のないまちにしたいために、皆でいっしょに考えましょう。

日時：11/19(日) 10:00~12:00
会場：鶴ヶ島市役所3階 議場
オンラインでも参加できます。市議会中からアクセスください。

懇談会では皆さんの疑問に答えます

問 上広谷で水害危機があったとき、班長が雨の中を連絡に走った。自治会の役割は何か。

答 自治会、支え合い協議会や自主防災組織は、共助の担い手となります。



問 過去の大震災では物流が滞った。鶴ヶ島に物資が届かなくなる。帰宅困難者も出るだろう。現状の備蓄では足りないのでは。対策はどうするのか。

答 帰宅困難者はワカバウォーク内にある若葉駅前出張所などでも受け入れ可能。備蓄品については、埼玉県との基準に則り、県と市を合わせて避難想定人数×3日分用意している。



問 女性目線の備蓄品について。

問 新たに防災倉庫ができているが、災害時の使い方がわからない。

市民と議員の懇談会でいただいたご意見は、今後の一般質問や委員会などで質疑内容とする可能性があります。引き続き議会だよりなどでご確認いただけると幸いです。

11月19日(日)「防災・減災で、より安心・安全のまちづくり」をテーマに、市役所議場とZOOMでのオンライン参加により市民と議員の懇談会を開催しました。全体で52人の方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。ご意見が反映しているようにしっかりと伝えさせていただきます。

アンケート意見

(一部の紹介)

- 地震や風害の二次災害である住宅火災が地域災害となるリスクが最も大きいと考える。防災対象に加えてほしい。
- チェックリスト等を用意し市役所と住民が情報共有し、助け合うような流れを考えるとほしい。
- 防災・減災ではなく予防・予知の観点で、災害が起きても支障のない体制づくりを。
- 開催時間を長くしてほしい。
- 一人ひとりの持ち時間を決めてはどうか。
- 子育て世代や若い世代の参加を促すよう、子どもの一時預かりなどを検討してほしい。

紙面の構成上、意見の一部を掲載しています。

ホームページへも掲載しています。ぜひご覧ください。



Q 高齢者が「しあわせ共感」する鶴ヶ島市に

おおた ただよし
太田 忠芳 議員



A 困り事があれば、必要な支援につなげる

市の考えを問う 一般質問

12月11日・12日・13日・14日の4日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。詳細は、QRコードから録画中継をご覧ください。

問 「しあわせ」をどう定義するか。

答 安心安全に暮らし、なるべく不安が少ない状態であると考える。

問 年金及び就労による収入に応じて医療保険及び介護保険の保険料を検討しているか。

答 国民健康保険・後期高齢者医療保険、介護保険の保険料は必要に応じて見直している。納付者と受給者のバランスの中で、医療費などを賄う制度である。

問 困窮により医療や介護サービスを受けられない場合はどう対応するのか。

答 生活の困窮については、別の手当てを考えることになる。

問 現在、多くの高齢者が経済的に困窮している。高齢者の困りごとに対して、申請を待たず

ではなく生活相談など、機会を捉えて積極的に働きかけてい



第6次鶴ヶ島市総合計画

ただきたい。

現在どのような取組を行っているのか。

答 高齢者実態把握調査の中で75歳以上の高齢者の世帯の状態を確かめている。

未回答やリスクがある方を生活支援員及び地域包括支援センターの職員が回り、話をする中で困り事があれば、必要な支援につなげるようにしている。



鶴ヶ島駅周辺地区

問 今後5年間の事業概要について。

答 4つの整備方針に基づき、整備をする。

1つ目は、安全な道路空間の形成として、側溝の入替えによる段差の解消、車道幅の縮小による歩行空間の確保、無電柱化や街路灯の新設に取り組む。2つ目は、魅力ある商店街づくりとして、イベントなどの開催の

Q 鶴ヶ島駅周辺の将来像について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



A 将来に向け地方創生を目指す

支援、空き店舗の活用促進などでまちの賑わいを創出する。3

つ目は、ガーデンパークの活用として、健康づくりなどの市民の主体的な活動促進や、イベント開催による交流機会を創出する。4つ目は、地域交流施設の

整備として、南市民センターを鶴ヶ島文化会館の敷地に移転し、新たな公共施設を整備する。

問 財政負担について。

答 事業費は5年間で、12億4800万円である。国庫補助金が5億4000万円、市債が4億6600万円、一般財源は2億4200万円を見込む。立地適正化計画の都市機能誘導区域のため、補助率が10%上乗せされ、50%で国に申請している。

地区の将来像「歩きたくなくなるころぎとにぎわいのまち」の実現を目指し、地方創生につながるよう取り組んでいく。



Q 部活動の地域移行と 合同部活動の促進

うちの よしひろ
内野 嘉広 議員



A 生徒にとってよりよい活動の場と なるよう検討していく

※合同部活動・・・学校に部があり、顧問もいるが、その学校だけでは大会に出場する人数に満たない場合に、同様の状況にある他の学校の部と合同チームを組み大会に出場する仕組みのこと。

問 部活動の現状と集団スポーツの部活動の現状について。
答 部活動数は、鶴ヶ島中学校が12、藤中学校が15、富士見中学校が11、西中学校が11、南中学校が8である。
主な集団スポーツの部活動数は、野球部が3校、ソフトボール部が1校、サッカー部が4校、バスケットボール部が男子4校、女子5校、バレーボール部は4校である。
問 部活動指導員の人材確保に向けた連携について。
答 募集は、ホームページや広報紙のみで行っている。今後は、地域支え合い協議会や学校運営協議会を通して、広く具体的に応募をかけていきたい。
問 集団スポーツの部活動は、

一つの学校でチームを構成することが難しくなっている。今後のチームづくりの考えは。
答 現在、※合同部活動では、土日などの休日に合同練習や練習試合を行っているが、平日は、移動時間や安全面から実施は難しい状況にある。
まずは、休日の部活動の地域クラブ活動への移行を進めていくことが必要だと考えている。
現在、部活動の地域クラブ活動移行検討委員会を組織し、来年度のモデル事業を検討している。

問 住民登録をしている外国人の人数は。
答 令和5年12月1日現在、1823人である。
問 主な国の住民数は。
答 5年12月1日現在、中国が407人、ベトナムが379人、フィリピンが256人、ネパールが116人、韓国が100人である。

Q 外国人住民に対する 多言語での対応は

すぎた やすゆき
杉田 恭之 議員



A ニーズを踏まえ、更なる多言語 対応を検討していく

問 市の広報紙やホームページなどにおいて、多言語対応はしているか。
答 広報紙の多言語対応はしていないが、ホームページは画面上での操作により132の言語に対応している。
問 一部事務組合の広報紙やホームページなどにおいて、多言語での対応の状況は。

答 ごみ処理を担う埼玉西部環境保全組合では、広報紙の対応はしていないが、同組合が発行する「ごみ・資源収集カレンダー」は英語と中国語に対応している。水道事業、下水道事業、し尿処理事業及び消防・救急事業の一部事務組合では、多言語対応はしていない。
問 市の広報紙やホームページにおいて、今後の多言語対応はしているか。
答 ホームページを中心に対応し、その他の媒体については、今後の技術革新の動向を注視し、外国籍の方々のニーズを見ながら対応を検討していく。



多言語対応しているごみ分別案内

Q 窓口業務委託事業について

おがわ
小川

しげる
茂 議員



A 市民サービスの向上と業務の効率化を図る

問 窓口業務委託事業の目的は。

答 窓口業務に専門性のある人材を配置し、接遇の向上を図ることによる市民サービスの向上と、職員として対応すべき業務に専念できるようにする業務の効率化が目的である。

問 「書かない窓口」「行かない窓口」の推進について。

答 「書かない窓口」とは、マイナンバーカードや運転免許証な

どからデータを読み取ることで、

来庁者が申請書に記入せずに手続きができる窓口サービスのことである。タブレットを活用し、申請書の記入の省略や、その内容を各種申請書と紐づけることができるシステムを導入し、「書かない窓口」を実施している。

「行かない窓口」とは、来庁

しなくても済む行政サービスである。市では、鶴ヶ島市デジタ



窓口を業務委託している市民課

ル・トランスフォーメーション推進計画に基づく3つの取組を進めている。

1つ目の取組は、国のオンライン化の動向への対応、2つ目は、本市独自のオンラインの推進、3つ目は、マイナンバーカードの活用促進である。今後は、こうした「書かない窓口」「行かない窓口」をより多くの方々が利用できるよう、利用範囲の拡充の検討や幅広い周知を行っていく。



Q 保育所でのおむつの施設処分等について

やまなか
山中 議員

もとみつ
基充 議員

A 公立は、来年度持ち帰りなしを検討している



全ての保育所でおむつ持ち帰りなしを！

公立保育所では、おむつを、

家庭より持ち寄り、使用済みを保護者が持ち帰っている。3歳からは、給食で主食が提供されずに、ご飯などを家庭より持参している。おむつの処分などのサービスは、公立、民間での差があってはならないと考える。

問 使用済みおむつの持ち帰りの状況は。

答 公立は全て、民間は16施設中9施設がおむつの持ち帰りをしている。

問 国は、各自治体に施設での処分を推奨する通知を出している。民間に助成をし、全保育所で施設での処分を実施すべきではないか。

答 公立は、来年度から施設での処分実施を検討している。

問 3歳児以上の場合、ご飯など主食を持参する実態は。

答 公立のみ持参している。
問 保護者の育児休業取得で、上の子が退園させられる事態は生じていないか。

答 最長で下の子が2歳になるまで上の子の在園が可能であり、退園の事例はない。

◎その他の質問

一 全国に広がる奨学金返還支援について

二 第9期介護保険事業計画について



生徒が主役の部活動

Q 生徒が主役の部活動の在り方とは

たきしま まさのり
瀧嶋 正紀 議員



A 部活動の教育的意義、役割を継承し、発展させる

問 部活動改革の方策検討状況について。

答 部活動は、教育課程外ではあるが、教育的意義の高い活動である。現在、国や県では、学校部活動の地域クラブ活動への移行を推進するための実践研究を実施している。成果や課題を踏まえ、部活動改革の方策の更なる検討が必要であると認識している。

問 令和5年度の熱中症対策及び効果は。

答 各学校で、チェックリスト及び熱中症計を有効に活用し、予防に取り組んでいる。熱中症対策を徹底した効果として、部活動中の熱中症による救急搬送事案がなかった。

問 部活動の地域クラブ活動移

行後の目指す姿とは。

答 少子化が進み、これまでと同様の規模で部活動の運営が大変難しくなってきたことや、学校における働き方改革が進む中で、教師が顧問を務める指導体制の継続が大変難しくなっている現状がある。地域の人材をしっかりと活用し、これから先、移行に向かって、生徒がスポーツや文化芸術に継続して親しめるような環境を整え、自己実現ができるよう、生きる力に結びつけていきたい。

Q 鶴ヶ島駅周辺まちづくり構想の成功を！

むらかみ しんきち
村上 信吉 議員



A 好循環を呼び、市の成長力の維持をめざす

問 賑わいのある商店街での市民交流について。

答 無電柱化などによる良好な景観形成と、イベントの開催支援などにより市民の交流を促す。

問 ガーデンパークでの賑わい創出について。

答 ナチュラルガーデンの育成を通じた市民の生きがいづくり

問 公共施設再編による地域交



ガーデンパーク完成イメージ図

流施設について。

答 南市民センターを鶴ヶ島文化会館の敷地に移転し、地域交流施設として整備する予定である。新施設は多様なニーズに対応するため、市民や関係団体の意見を伺いながら検討していく。

問 鶴ヶ島駅周辺まちづくり構想の将来展望について。

答 「歩きたくなるくつろぎとにぎわいのまち」として、市の成長力や活力を維持する地方創生につながるよう取り組む。

◎その他の質問 子育てと教育を鶴ヶ島市の魅力として発信するために

Q 単身高齢者をどう 支えていくか

小林ひとみ 議員



A 民生委員のサポート役である 地域福祉サポーター制度を開始

問 市内の高齢化率は。

答 令和5年11月1日現在、29・4%で、9年頃には30%を超え、その後も増加し続ける見込みである。

問 市内の単身高齢者世帯は。

答 令和2年は、3421世帯で、平成27年と比較し、1189世帯増加している。令和12年には4600世帯を超える見込みである。

問 単身高齢者の相談窓口である民生委員・児童委員も地域

る民生委員・児童委員の充足率は。 **答** 定数115人に対し、93人。充足率は約80・9%である。

問 欠員区域への対応は。

答 欠員区域の見守りや現役の民生委員・児童委員の方へのサポート、また、新たな地域福祉の担い手となる人材育成を目的に、12月1日から地域福祉サポーター制度を開始した。

問 民生委員・児童委員も地域



福祉サポーターもいない場合は、**答** 生活支援員の訪問など、何らかの形で職員が接触するようにしている。

問 単身高齢者にとっての地域
支え合い協議会の役割は。
答 ごみ捨てや庭の手入れなどの有償ボランティア活動を行う中で、利用者の見守りも行っている。

◎**その他の質問** HPVワクチンキャッチアップ接種対象者への最終通知

Q 18歳までの医療費無償 化へ向けて

今野 雄一 議員



A 6年度中の制度導入へ向け検討

問 令和6年度に予定される県の乳幼児医療費助成制度の対象年齢の拡大による、市の財政負担の軽減は。

答 県からの本市への補助金は、4年度決算で約2500万円である。対象年齢が、通院で小学校3年生まで、入院で中学校3年生まで拡大されると、本市への補助金は、約4000万円になる見込みである。

問 今回の県の対象年齢引き上げが、本市のこども医療費助成制度の対象年齢拡大に向け、大きな後押しになると考えられるか。

答 対象年齢を18歳まで拡大した場合、市の負担額は概算で約3000万円の増額を見込んでいる。県の補助金は約1500万円増える見込みだが、不足分が生じる想定である。

問 子どもの健康と命を守り、子育て支援の柱でもあることでも医療費助成制度の対象年齢を、18歳まで引き上げを。

答 市の財政負担は多少増大するが、全ての子どもたちの心身の健康を守ることが大切と考えている。18歳までの年齢拡大を、医師会などと調整し、6年度中の導入を考えている。

◎**その他の質問** 生活者・事業者へ効果的な支援を





色で多様性を表現するレインボーフラッグ

Q 多様性の支援の実用性は

おがわ ひろみ
小川 尋海 議員



A 可能な限り結婚などと同様に対応していく

問 今年度より、鶴ヶ島市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度が開始された。他自治体で利用できる行政サービスについて、本市では利用可能か。

答 保育所などの送迎は、事前に登録することで宣誓制度利用者や同性パートナーでも可能である。宣誓制度を利用する職員への給与制度（扶養手当など）や休暇制度（結婚休暇など）はない。他自治体の状況を踏まえて検討する。

問 市内事業者への働きかけは、医療、福祉及び住まいの配慮が必要であり、一般社団法人坂戸鶴ヶ島医師会、医療機関及び不動産業者に宣誓制度の趣旨を周知、啓発した。

問 性の多様性への支援の目標

とその実現のために今、市としてやるべきことは。

答 多様な生き方や価値観を認め合う社会の実現を目指し、制度を導入した。県内で同様の制度を導入した他自治体との広域的な連携を進める動きもあり、これに賛同し、調整を図っていく。

◎その他の質問

一 ワクチン助成金で最高の予防医学を

二 フッ化物物でむし歯予防の取組を

Q 安心・安全な情報化の推進を 行政サービスを安定的に提供 できるよう努める

たかしの まさひろ
高篠 雅洋 議員



問 スマホ教室の参加状況は。

答 昨年度に比べ減少している。

問 非常時の学校から保護者への情報提供は。

答 校務支援システムで保護者へ通知し、各小・中学校が発信する情報を保護者などが見れるようにしている。

問 スマホのヘルプデスクなど、個人向けの指導は。

答 スマホよろず相談を実施している。

問 非常時の情報発信に係る訓練状況は。

答 全庁を挙げての災害対策本部設置訓練で実施しているが、情報発信の難しさを感じている。

問 行政システム活用推進事業の予算で、維持管理費の割合は。

答 約89%である。

問 維持管理に莫大な費用や人件費を要しているが、クラウドの利用を検討してみても。

答 メリット、デメリットなどを検討しながら、経費削減や職員の負担軽減も含めて考えたい。

◎その他の質問

一 一本松駅南口改札開設に向けた取組状況は。

二 複合施設（旧西中学校）意見募集状況は。



安心・安全な情報化の推進を

Q 安心・安全な食材を使用した学校給食を

小島 幸広 議員
こしま ゆきひろ



A 良質な学校給食食品の確保が不可欠

問 殺虫剤として使われているネオニコチノイド系農薬の残留チェックを強化して安全な野菜の使用を。

答 定期的に様々な検査を行っており、残留農薬の検査は、200項目程度について、年2回行っている。

問 合成保存料、発色剤などの検査強化や無添加食材への切り替えを。

答 食品の選定は、可能な限り加工したものは避け、有害及び不必要な食品添加物が添加されていないことを基本としている。

問 今後、引き続き実施していく。オーガニック野菜など、安心・安全な食材の使用となると、1食あたりの単価が上がるが、

答 毎日約5000食の給食の提供に対し、安定的に調達する



安心・安全な学校給食を

Q 教育環境の充実について

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A トイレ改修などを検討し、教育環境の充実を図る

ことが非常に困難である。引き続き残留農薬検査などを実施し、納入業者などと情報を共有して安心・安全な給食を提供できるように努める。

問 条件、期間限定を含めて学校給食費の無償化の実施を。

答 現在は、物価高騰分を市の負担としている。今後も国や県の動向を注視していきたい。

◎その他の質問 高齢化が進む社会で今求められている施策は。

教育環境の充実という観点から、学校再編やその他の教育に関する課題について質問する。

問 (仮称)西部中学校への通学方法について、徒歩や自転車、つるワゴンなどが考えられる。

答 通学方法を各家庭に委ねては、駐輪場の確保や下校時の混雑などの課題を学校・保護者とともに検討していきたい。

問 靴下の色の指定や男女別の髪型の規定など、意味不明な校則は作らないでいただきたいが。

答 開校当初に明確になっていないと子どもたちが混乱するような校則は概要を決め、詳細を、子どもたちが考えていくことが大切である。こうした考え方を



教育環境の充実を

しっかりと学校現場と共有していきたい。

問 開校時には、一時的なスクールカウンセラーの増員を。

答 充実した相談体制となるよう検討していく。

問 長久保小学校のトイレの改修を。

答 国の補正予算にあわせて財源確保を図り、各学校のトイレの改修を検討している。

◎その他の質問

一 鳥獣による被害対策について

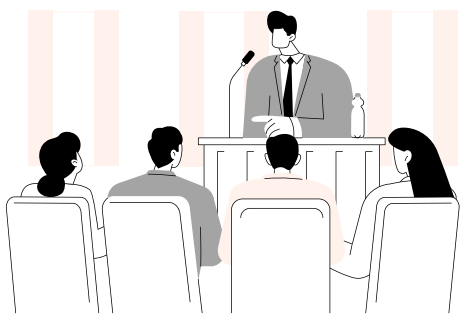
二 公園施設の老朽化対策について

Q 市民広聴会と後期基本計画について

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 市民の要望と市の課題にバランスよく対応していきたい



問 第6次鶴ヶ島市総合計画の後期基本計画の策定にあたって市民広聴会が開催された。富士見市民センターでの様子は、大変残念な内容であったとともに、後期基本計画にも大きな不安を感じた。

第6次総合計画は目標も施策も不明確であるため、当時、私は反対した。計画に掲げられた成果指標の達成状況も残念なものと思われる。

本市は他市との市民サービスの比較において負けているのが現実である。市長が進めようとしている「つるの駅構想」、「ナチュラルガーデンによるまちづくり」、「鶴ヶ島駅周辺の再開発」は、市民が直接望んでいるものであるとは考え難い。その

見解は。

答 市民の要望と市の課題は必ずしも直接的に一致するものではない。

今回の広聴会でも、個人の困り事や身の周りのことなどが非常に多かった。そこは対応していかなければならない。一方で、個人の要望とは別に、人口減少などの将来を見据えた市の方向性についても、行政のプロとして、本市がどうあるべきかを考え、整理をしながらバランスよく進めていきたいと考えている。

Q 生活保護制度を利用しやすく

ふくしま めぐみ
福島 恵美 議員



A ためらわず申請してください

問 借金がある人、住むところがない人、持ち家がある人、車を所有する人は、生活保護を申請できないという「水際作戦」がある。本市の対応は。

答 本市でそのような対応を行ったことはない。

問 「水際作戦」を行わないための職員への指導は。

答 相談者に生活保護制度について丁寧に説明し、相談者の意思を尊重した対応が、できるように指導している。

問 本市の扶養照会率は全国平均約42%に比べて高い。厚生労働省も運用改善を通知しているが、本市の扶養照会の状況は。

答 本市の直近3年間の扶養照



会率は令和2年度73%、3年度76%、4年度77%である。

問 本市SNSで生活保護申請の呼びかけをしない理由は。

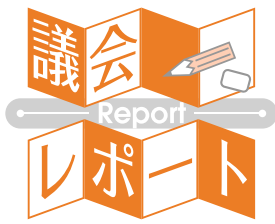
答 生活保護に限らず他法他施策の発信の仕方は検討したい。

問 「生活保護をぜひためらわずに申請していただきたい」と市長が市民へ呼びかけては。

答 ホームページにためらわず申請くださいということや赤字で表記している。その気持ちは市でも間違いなく持っている。

◎その他の質問

- 一 本市の魅力を発信せよ
- 二 市民の政治参加を促す施策



令和5年に開催した議会の状況を報告します

議会開催状況

会議	会期(日)	本会議日数(日)	委員会日数(日)			傍聴者数(人)
			総産	文教	予決	
第1回定例会	28	6	1	1	3	82
第1回臨時会	1	1	1	1	2	2
第2回定例会	18	6	1	0	1	51
第3回定例会	25	7	1	1	3	79
第4回定例会	19	7	1	1	1	81
合計	91	27	5	4	10	295
会期外			0	0	0	0

※総産…総務産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
予決…予算決算常任委員会

議員提出付議事件 (件)

区分	議決態様別					計
	可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	
条例	2	0	0	0	0	2
規則	0	0	0	0	0	0
意見書	0	0	0	0	0	0
決議	0	0	0	0	0	0
その他	10	0	0	0	0	10
計	12	0	0	0	0	12

市長提出付議事件 (件)

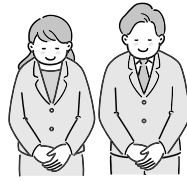
付議事件別		議決態様別			
区分		可決	否決	継続審議	計
自治法第96条付議事件	条例	26	0	0	26
	予算	22	0	0	22
	決算	6	0	0	6
	その他	22	0	0	22
自治法第179条(専決処分)		1	0	0	1
計		77	0	0	77

※「可決」には、認定、同意、承認等の議決を含みます。

アンケートにご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

これからの議会だよりの編集に活かすために11月30日(木)までの間でアンケート調査を行いました。回答にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

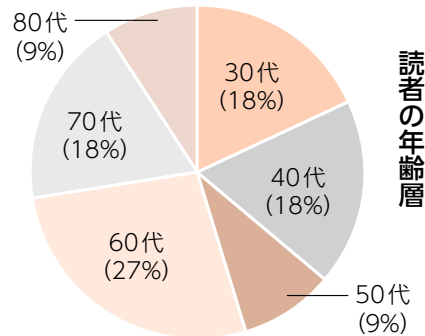
アンケート結果を、議会だよりの作成に活かしていきたいと思えます。
アンケート結果の一部をご紹介します。



- 皆様に読まれている記事
- 第一位 (82%) 一般質問
 - 第二位 (64%) 市民・団体インタビュー
 - 第二位 (64%) 議案の審議結果一覧

そのほかの意見

- 議員の活動を具体的に知りたい
- 一般質問をカテゴリーごとに分けてほしい
- ネガティブな内容も掲載してほしい
- 議員や会派ごとにやりたいことをアピールしてみたい



令和5年11月11日、産業まつりの開催に合わせて実施された交通安全フェアに参加しました。

鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として

こんな活動もしています



12月8日、冬の全国交通安全運動における街頭指導に参加しました。

議案番号	議案の名称	議員名等	審議結果	議案の所属											賛成	反対・賛成せず			
				新政クラブ	つるがしま未来	公明党	日本共産党												
議案第72号	和解について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第73号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第74号	令和5年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第7号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

委員会審査

条例等

議案第58号
鶴ヶ島市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について

埼玉県川越都市圏まちづくり協議会に鳩山町が加入することに伴い、施設の利用者の範囲に鳩山町を追加するものです。

議案第59号
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

国家公務員及び埼玉県職員の給与改定に合わせて、一般職の職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定するものです。

議案第60号
鶴ヶ島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

議会議員の期末手当について、職員の期末手当及び勤勉手当との均衡を図るため支給割合を改定するものです。

議案第61号
市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

市長、副市長及び教育委員会教育長の期末手当について、職員の期末手当及び勤勉手当との均衡を図るため支給割合を改定

するものです。

議案第62号
鶴ヶ島市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に勤勉手当を支給するものです。

議案第63号
鶴ヶ島市個人番号の利用の範囲及び特定個人情報提供の制限に関する条例の一部を改正する条例について

個人番号カードと健康保険証の一体化に伴い、こども医療費助成金、重度心身障害者医療費助成金及びひとり親家庭等医療費助成金の支給に関する事務に利用する特定個人情報に、医療保険給付関係情報を追加するものです。

議案第65号
鶴ヶ島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正に伴い、産前産後期間に係る国民健康保険の所得割額及び被保険者均等割額を減額するものです。

議案第69号
公の施設の指定管理者の指定について

鶴ヶ島市立障害者生活介護施設

設の指定管理者を指定するものです。

議案第70号
公の施設の指定管理者の指定について

鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」の指定管理者を指定するものです。



障害者生活介護施設

議案第71号
市道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定によるものです。

議案第72号
和解について

庁舎給排水設備更新等工事における事故について、和解するものです。



市道1409号線

議案第72号
和解について

庁舎給排水設備更新等工事における事故について、和解するものです。

議案第72号
賠償額が請求額より低い理由は。

物品の減価償却率や耐用年数などで下がった価値を考慮して賠償額を算定したため約1170万円の差がある。



令和5年度の一般会計補正予算2件及び特別会計補正予算2件が可決されました。

一般会計(第6号)

戸籍・住民基本台帳管理運営事業

戸籍に振り仮名を追加することになった経緯は。

国は、行政機関の申請や届出などの手続きに個人の氏名を平仮名または片仮名で表記したものを利用し、個人を識別できるようにするため、戸籍の

氏名に振り仮名をつけることとした。

障害者自立支援給付等事業

Q 短期入所及び共同生活援助給付が増加した理由は。

A 障害者自身の重度化や高齢化及び家族の高齢化などにより、グループホームへの入居者が増加している。また、障害者が家族と離れた生活を体験するための短期入所の利用などが増えているためである。

ふるさと振興発信事業 寄附によるまちづくり基金 積立金(ふるさと納税分)

Q 寄附の受入額が5000万円増額した要因は。

A 魅力的な返礼品の提供や、新しいパートナー企業と連携を行ったこと。また、新たなポータルサイトの追加などによる影響である。

国民健康保険

一般被保険者高額医療費保険者負担金に要する経費等を補正するものです。

介護保険

介護保険システム改修事業費に要する経費等を補正するものです。



美味しい給食いただきます



↑当日のメニューは、食パン、ジャム、ポークビーンズ、アジフリッター、バジルサラダ、牛乳

令和5年11月10日(金)に鶴ヶ島市学校給食センターに視察に行きました。

「学校給食は、美味しくない」と聞いたことがあるとかないとか。実際に試食してみた感想は… **「美味しい！」**

野菜がたくさん入っていて、栄養も満点！地元の野菜も入っていて、毎日食べたいくらい！子どもたちがうらやましい！



↑皆で記念撮影。ごちそうさまでした。

私も食べてみたい！という方は、「まちづくり市民講座」から申し込みいただければ、どなたでも試食可能です（5人以上）。



美味しくて、つついおかわり。残さず、食べきりました！ →

議会だよりの印刷工場を視察しました。

11月10日(金)に、議会だよりの印刷している工場に視察に行きました。

写真の編集、印刷過程など様々な工程を見学させていただきました。また、現在の議会だよりについて、プロの目線から見た改善案などをご提案いただきました。

今後は、アンケートなどで皆様からいただいた意見も含め、更に見やすい紙面を目指していきたいと思えます。



ガーデンパークを視察しました。

10月23日(月)に、鶴ヶ丘児童公園と一体として、整備を進めているガーデンパークの視察に行きました。



次世代議会研究会を 設置しました。

12月15日(金)に、次世代議会研究会を設置しました。「次世代に繋げる議会の環境の整備」「先進事例の調査研究」「運営手法の検証」などについて研究を行います。



市議会の情報発信

市議会ホームページ



積極的な情報発信を行い、議会と市民の皆様をつなぐため、ホームページを開設しています。定例会や臨時会の日程、議案の掲載に加え、議会が行っている様々な活動もお知らせしています。



会議録検索システム



議会の会議録は、中央図書館や議会図書室でご覧になれます。また、ホームページにも掲載していますので、どうぞご利用ください。なお、会議録の作成は、議会閉会后2か月程度かかります。第4回定例会（12月議会）の会議録は、3月初め頃からご覧になります。



X (旧Twitter)



@tsuru_shigikai

議会当日に、中継のお知らせをするなど、迅速に議会の動きを伝えるため、情報発信をしています。



インターネット配信



議会でのやり取りを積極的に公開し、議会をより身近なものにするため、本会議のほか、常任委員会及び特別委員会の様子をインターネットで配信しています。配信には生中継と録画中継があります。録画中継は、当日の会議終了後1週間程度でご覧いただけます。



次回定例会のお知らせ

次回の令和6年第1回定例会は、2月21日(水)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5〜2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階の議会情報公開コーナーなどでご案内します。ホームページはこちら

鶴ヶ島市議会

検索



チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

市民・団体 インタビュー

鶴ヶ島市消防団



市議会



消防団の特別点検での分列行進

〈インタビューに参加した鶴ヶ島市消防団のメンバー〉

登坂一彦さん、青木優也さん、鈴木徹さん、山田吉徳さん、辻恵美さん、池田貴広さん、齊藤真宏さん、中嶋健治さん、清野浩祐さん、小鮒勇介さん

「自らの地域は、自ら守る」との精神に基づき、住民の安心と安全を守るために、消防防災活動を行っている鶴ヶ島市消防団。
令和5年11月14日(火)に、鶴ヶ島市消防団の方々にインタビューを行いました。
消防団は団本部の下、4つの分団で編成されており、それぞれ市内の担当地域を中心に活動しています。

●日頃の活動から思うこと

主な活動として、火災予防の広報活動や、消防署との連携訓練を行っています。団員は、それぞれの本業を終えた後に時間を作り活動することが多いため、大変な点もありますが、「地域を守る」との同じ思いを持った仲間と支え合いながら取り組んでいます。

今後の活動として、救急講習や消防訓練の指導にも力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

●女性団員も活躍中

女性部も活躍しています。応急手当普及員の資格取得への取組や、各種訓練へ参加する中で、女性の視点を大切に活動しています。

防災活動車での広報活動では、手を振って応援してくれる子どもたちもいて、活力をもらいながら取り組んでいます。

●地域を守る仲間を

私たち消防団員のなり手不足や地域との連携も課題です。住民の安心安全のために、一緒に地域を守る仲間を募集しています。主体的に活動していただける方々に入団してもらえよう

取り組んでいます。

●議員に一言

市民・地域の声をしっかり聞いて、課題や要望に対しては、粘り強く取り組んでもらいたいです。

また、市内イベントの充実や各種市民活動の推進に向け、市全体で協力し合い、盛り上げる事も重要だと感じています。



インタビューの様子

●市民が誇れるまちづくりを

鶴ヶ島は豊かな自然も多く、交通面でも恵まれた住みよい街です。子どもの未来を開く教育環境も整ってきています。市民が誇れるまちづくりを期待しています。

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます！

編集 後記

議会だよりの印刷製本を委託している印刷会社を見学しました。組版・製版・刷版・印刷・製本まで一貫して製作できる設備を備えていました。印刷工程を知ることでも今後の企画・編集に生かし、紙面の刷新に役立てることができると思いました。

「市民と議員の懇談会」参加者からは、「議会だよりの掲載の案内チラシを見て」との回答が多くありました。紙面作りに工夫を凝らし、多くの方に「読んでもらえる」紙面を届け、議会を身近に感じて頂けるようにしたいと思います。

(広報広聴委員)

(太田)

- 委員長 小林ひとみ
- 副委員長 今野雄一
- 委員 太田忠芳
- 委員 小川信茂
- 委員 村上信吉
- 委員 福島恵美
- 委員 高篠雅洋
- 委員 内野嘉広